

こんにちは
魚沼市議会 です



令和3年第2回定例会 No.74



「蝶の夢世界」 堀之内中学校 1年 山崎うさきさん

CONTENTS

臨時会・定例会・市長行政報告・ 補正予算・議案賛否の状況 …………… 2～3	聞かせて！あなたの声「Voice」 …… 12
議案第81号 反対・賛成討論 …………… 4	常任委員会報告 …………… 13～14
一般質問 …………… 4～11	政務活動費報告 …………… 15
	市民の声・わが校自慢・あしがき …… 16

〈発行責任者 議長 関 矢 孝 夫〉 広報広聴特別委員長 大 桃 俊 彦 副委員長 大 平 恭 児
委員 横 山 正 樹 浅 井 宏 昭 遠 藤 徳 一 渡 辺 一 美

広報広聴特別委員会をご紹介します

第6期魚沼市議会のスタートに当たり、今までの広報編集特別委員会からさらに広聴機能を強化し、広報広聴特別委員会が6人のメンバーでスタートしました。

広聴を加えたことで市議会が市民のみなさんに今まで以上に広く親しまれるように活動をし、より魅力ある「こんにちが魚沼市議会です」の発行と議会報告会等の市民との窓口として取り組んでまいります。

皆様の声をお聞かせください！



第1回臨時会・第2回定例会報告

令和3年第1回臨時会が5月28日に開催され、市長専決処分の議案を承認するとともに、令和3年度一般会計補正予算（第2号）及び条例の一部改正を可決し、人権擁護委員候補者の推薦についてを適任としました。また、魚沼市議会会議規則の一部改正を可決しました。

また、令和3年第2回定例会が7月13日から7月29日までの17日間の会期で開かれました。初日に令和3年度一般会計補正予算（第3号）を可決しました。

7月15、16日には、15人の議員から市政全般にわたる一般質問が行われました。

7月29日の最終日には、請願及び市長より追加提案された権利を放棄する議案等の採決を行いました。その後、一般会計補正予算（4号）及び市長給与1カ月分10%減給の条例の一部改正を審議し、可決しました。また、意見書の提出についてを可決しました。

※議案賛否の結果は、3ページをご覧ください。

主な市長行政報告

- 水の郷工業団地における株式会社ブルボンの魚沼工場第1期建設工事が着工。また、東京ガスエンジニアリングソリューションズ株式会社による特別高圧共同受電事業の工事が着工。
- 「もらっ得キャンペーン」について6月末までに6,100人が利用。さらに宿泊施設宿泊誘客奨励金制度を新設。
- 銀山平地区を魚沼市自然環境保全条例における動植物等保全地区として新たに指定。
- 自治会の地域活動への支援策として各集会所に感染症対策キット等を配布。
- 「下折立自治会に対する除雪車無償譲渡の違法・無効を求める損害賠償請求事件」は新潟地方裁判所において却下の決定が下された。
- 「斎場建設瑕疵担保請求の違法・不当性に関する損害賠償請求事件」は最高裁判所としては受理しない旨の決定がされたことにより結審となった。
- 塩沢信用組合より市政発展のために役立ててほしいとのご意向で100万円をご寄贈いただいた。
- 魚沼特使の田中博之様より小出郷文化会館開館25周年を記念して絵画6点をご寄贈いただいた。

第1回臨時会・第2回定例会補正予算

	補正前の額	補正額	計	主な内容	
第1回臨時会	令和2年度魚沼市一般会計補正予算（第9号）（専決処分）	370億6,765万5千円	△8億5,650万円	362億1,115万5千円	道路除雪経費の国庫補助金追加や財政調整基金、ふるさと結基金繰入金の減額
	令和3年度魚沼市一般会計補正予算（第1号）（専決処分）	285億2,000万円	2,500万円	285億4,500万円	子育て世帯生活支援特別給付金と諸費用
	令和3年度魚沼市一般会計補正予算（第2号）	285億4,500万円	1億8,030万円	287億2,530万円	PCR検査費用拡充、コロナワクチン経費追加、農業用パイプハウス復旧支援、小出ボランティアセンターのエレベーター設置
第2回定例会	令和3年度魚沼市一般会計補正予算（第3号）	287億2,530万円	8億1,910万円	295億4,440万円	コロナ感染症対策、ふるさと納税ポータルサイトの経費追加、FM難聴対策、私立保育園新設の整備交付金、月岡公園補修工事、住宅リフォーム補助金追加
	令和3年度魚沼市一般会計補正予算（第4号）	295億4,440万円	0円	295億4,440万円	斎場瑕疵担保請求滞納繰越分の全額減額と財政調整基金からの同額の繰り入れ

第1回臨時会議案等

◎=全会一致 ○=賛成多数で可決・承認・採択・同意、適任 ×=否決・不採択・不承認

議案番号等	付議事件	議決結果
予 算	議案第60号 専決処分の承認 (専決第8号 令和2年度魚沼市一般会計補正予算(第9号))	◎
	議案第63号 専決処分の承認 (専決第11号 令和3年度魚沼市一般会計補正予算(第1号))	◎
	議案第64号 令和3年度魚沼市一般会計補正予算(第2号)	◎
条 例	議案第61号 専決処分の承認 (専決第9号 魚沼市税条例等の一部改正について)	◎
	議案第62号 専決処分の承認 (専決第10号 魚沼市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の一部改正について)	◎
	議案第65号 魚沼市税条例の一部改正について (地方税法等の改正により固定資産税の特例期間が2年間延長されること等に伴い、所要の改正を行うもの)	◎
	議案第66号 魚沼市国民健康保険税条例の一部改正について (新型コロナウイルス感染症の影響により一定程度収入が減少した被保険者に対する国民健康保険税の減免期間を延長するため、所要の改正を行うもの)	◎

議案番号等	付議事件	議決結果
条 例	議案第67号 魚沼市国民健康保険条例の一部改正について (新型コロナウイルス感染症等対策特別措置法の改正に伴い、所要の改正を行うもの)	◎
	議案第68号 魚沼市介護保険条例の一部改正について (新型コロナウイルス感染症の影響により一定程度収入が減少した第1号被保険者に対する保険料の減免期間を延長するため、所要の改正を行うもの)	◎
人 事	議案第69号 人権擁護委員候補者の推薦について(赤土 櫻井みゆき氏)	◎
	議案第70号 人権擁護委員候補者の推薦について(東野名 穴沢俊蔵氏)	◎
	議案第71号 人権擁護委員候補者の推薦について(穴沢 佐藤英里氏)	◎
議員 発議	発議第3号 魚沼市議会会議規則の一部改正について (多様な人材の市議会への参画を促進する環境整備を図るとともに、政府の政策動向を踏まえ、所要の改正を行うもの)	◎

第2回定例会議案等

◎=全会一致 ○=賛成多数で可決・承認・採択・同意、適任 ×=否決・不採択・不承認

議案番号等	付議事件	議決結果
予 算	議案第72号 令和3年度魚沼市一般会計補正予算(第3号)	○
	議案第82号 令和3年度魚沼市一般会計補正予算(第4号)	◎
条 例	議案第73号 魚沼市芸術文化振興基金条例の廃止について (魚沼市小出郷文化会館で実施する芸術文化の振興に資する事業の財源に充てていた魚沼市芸術文化振興基金について、全額取り崩したことから、当該条例を廃止するもの)	◎
	議案第74号 魚沼市手数料徴収条例の一部改正について (番号法の改正によるマイナンバーカード再交付手数料の徴収主体の変更に伴い、所要の改正を行うもの)	◎
	議案第83号 魚沼市特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部改正について (市の権利を放棄することに対する社会的影響を考慮し、その責を負う市長の減給を提案するもの)	◎
その他	議案第75号 財産(災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車)の取得について	◎

議案番号等	付議事件	議決結果
そ の 他	議案第76号 財産(小型動力消防ポンプ付普通積載車3台)の取得について	◎
	議案第77号 財産(ロータリ除雪車)の取得について	◎
	議案第78号 財産(ロータリ除雪車)の取得について	◎
	議案第79号 財産(除雪ドーザ)の取得について	◎
	議案第80号 四日町排水ポンプ場土木工事請負契約の変更について	◎
議案第81号 権利の放棄について	○	
請 願	請願第3号 30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の採択を求める請願書	◎
議員 発議	発議第5号 30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の提出について	◎

議案賛否の状況

賛否が分かれた上表の網かけの議案等について掲載

○=賛成 ●=反対 △=棄権 欠=欠席 --=除斥 ※=議長は議決に加わりません。

議案番号等	議決結果	合計		しんせいクラブ		日本共産党		みらいの風			緑 晴 会			魚沼大地クラブ		会派所属なし			関矢 孝夫				
		賛成	反対	渡辺 一美	富永 三千敏	大平 恭児	佐藤 達雄	大桃 俊彦	浅井 宏昭	星野 みゆき	森島 守人	佐藤 敏雄	佐藤 肇	本田 篤	志田 貢	横山 正樹	桑原 郁夫	星 直樹		遠藤 徳一	高野 甲子雄		
議案第72号	原案可決	16	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	※	
議案第81号	原案可決	16	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	※

議案第81号
「権利の放棄について」
賛成16対反対1で
可決

提案理由

平成25年の土地売買契約により、市が斎場建設用地として取得した土地の廃棄物類の処分経費のうち、隠れた瑕疵に係る売主の瑕疵担保責任に基づき損害賠償請求権について、市の債権として保有すべき権利ではないと認めるため、提案する。

反対討論

令和3年度予算に瑕疵担保請求をできる権利を行使すると歳入にその金額が計上され議会議決した。審査過程では放棄したらどうかと質疑もある中、当初予算で市長は行政の継続性の重要性のもと計上し、機を見て精査するとした。今回の提案はどう精査して請求できる権利を放棄する政治判断に至ったか。その明確な根拠や判断材料について説明ができない限りこの時期の請求をできる権利の放棄の提案には反対せざるを得ない。

賛成討論

①根拠とした実例が国の機関のもの

のであることから信用性が高い。

②国の実例では瑕疵担保責任を追及する際、一般私人より高度な注意義務が求められる、善意・無過失が争点となった場合、認められない可能性があるため断念すると判断している。当市が瑕疵担保責任を追及する権利はあるが損害賠償請求権を放棄するとの提案理由と矛盾していない。

③訴訟中の債権放棄の議決は無効との判例があり、最高裁の結審がでた現時点での提案は最善の提案時期である。以上3点が賛成する理由である。

●長年裁判で勝ち続けてきたこの問題に魚沼市自ら決着を付けることは大いに評価する。しかし、議会での答弁と違う対応であり、市民に誤解が生じないような説明が必要だ。前地権者に弁償金の徴収を督促し続けてきた問題であり、転換を図る市長の判断は大変重い。なお、今後同様な事例が起きないよう、より一層慎重で丁寧な事務執行を求める。

一般質問 (通告順)



佐藤 肇

医療職員用宿舎整備について問う



問 この度、市立小出病院において新型コロナウイルスの院内感染が発生し、看護師など一部職員が自宅に帰れない事態となった。将来の人材確保・福利厚生のための投資として、また、医療業務継続・危機管理の施策として市立小出病院に医療職員用宿舎整備は必要と考えるがどうか。

答 会、町内会等と協議を行い、高齢者世帯に対する声掛け、地区集会所から指定避難所までの交通手段確保を進める必要があるのではないか。

答 宿舎整備については、人材確保や危機管理の面で重要と認識しているが、職員の多くが市内近郊に居住していることから、今のところ考えていない。今後魚沼市医療公社の意向を踏まえながら検討したい。

答 要支援者名簿を自治会等に提供しており、それに基づき安否確認等を行うようをお願いしている。今後要支援者の個別避難計画の作成を進める中で、交通手段確保への対応策も検討したい。

問 地域防災計画の避難所計画を問う

問 市指定避難所の参集範囲は広域で、地元の町内会単独での避難所対応は難しい。指定避難所に関する全町内会、コミュニティ協議会をメンバーに加え、避難所毎に計画を策定する必要があると考えるがどうか。

問 洪水ハザードマップの関係で、地区指定避難所が遠くなり、徒歩避難が困難となっている。各自治

答 地域の防災計画も非常に重要である。防災士の活用も含め、策定を支援していきたい。



浅井 宏昭

免許証を持たない市民 の移動手段について



問 免許証返納者に対して魚沼市乗合タクシー等共通回数券(22,000円分)を返納時に1度だけ交付しているが、山間部に住んでいる市民と中心部に住んでいる市民を同じ条件で考えてもよいのか。

答 あくまでも自主返納制度を促進するために実施しているということから、同じ条件で交付しているのをご理解頂きたい。

問 大白川の住民が日中に急用でタクシーに乗って小出病院まで行くのと片道9,000円程度かかる。往復すると回数券をほぼ使い切ってしまうが、中心部から遠く離れた免許返納者の高齢者に対してこのままの対応でいいのか。「中心部の人の生活と山間部に住む者と同じ物差しで考えてもらっては困る」という市民の声もあるが、これからのように考えていけば市民の生活が楽になるのか市長の見解は。

答 どうやったたら山間部の方が病院や買い物に安全に行けるか検討し

ながら考えていきたい。決して無視しているということはない。

問 免許証を持たない市民を継続して支援していける体制を整えるべきと考えるが今の体制のままではないのか。

答 免許証自主返納者に対する制度の見直しは考えていないが継続した支援策については、現行の福祉分野の拡充を含めより良い制度の構築ができるよう検討する。

問 全国各地で公共交通の助成を取り入れている自治体が多くあるが、魚沼市でも継続して支援している「シルバーパス」のような割引制度に取り組んではどうか。

答 持続可能なより良い制度を構築していきたい。

※このほかに、「若者の声を取り入れたまちづくり」について質問しました。



佐藤 敏雄

特別養護老人ホームの 待機者対策を問う



問 当市は第7期介護保険事業計画の中で、不足している介護老人施設の入所定員を50床増加させると計画したが、いまだ進んでいない。平成31年の県調査で、魚沼市の施設入所希望者は238名だが、待機者数はさらに増えていると思う。8期計画も同様の計画だがなぜ上乗せしないのか。市内法人と支援策等について協議しているか。事業主体を地元以外に求める考えはないか。

答 介護人材不足で計画が進んでいない。市内関係法人と協議中である。市内法人の同意が得られない場合は市外も検討する。

今泉養鶏団地について問う

問 今泉養鶏団地は、長年にわたる地域産業に貢献してきたが、平成27年に全面廃業となり、16棟あった

鶏舎が倒壊して危険な状況となっている。近くに保育園や一般住宅もあり、建物の飛散や有害鳥獣の被害等の心配もあり、地元区から市に対して撤去の要望が出されている。元JA関係者が解決に向け努力を重ねてきたが、今現在は交渉を中断している。危険な状態が長期になっており、早期解決には市の関与が不可欠であり市長のリーダーシップに期待する。

答 個人的に現場を3回ほど見に行っているが、民間の所有であり、所有者に早期撤去の依頼をしている。

問 早期撤去に対して、市の最高責任者としての決意を聞かせてほしい。

答 意見を肝に銘じておきます。



星 直樹

観光政策と地域活性化について



問 市内の観光地を中心に小便器の自動洗浄、洋式温水洗浄便座などトイレの改修を進めてはどうか。

答 指定管理施設等を対象にした昨年度の調査では、小便器のうち約35%が自動水洗非対応、洋式便器のうち約50%が温水洗浄非対応となっている。快適性向上を図るため引き続き検討していく。

コロナウイルス感染症による飲食店支援について

問 プレミアム付商品券の加盟店募集において、市内の商工会加盟店舗で小規模事業者は市外に本店があっても対象とするべきではないか。

答 対象店舗について多くの意見があったため、本年度の商品券発売前に商工会連絡協議会で検討を重ね

た結果、市内に本店があることが要件となった。現時点で次回の商品券事業の予定はないが、今後も市民や事業者の意見を踏まえ効果が最大限に発揮される制度設計に努めていく。

子どもの一時預かりについて

問 保育園に通っていない子どもたちの一時預かりのシステムを見直し、子育て支援充実を図るべきだと考えるが見解を伺う。

答 各保育園の状況により利用を断らなければならないことがあるのが実態である。保育園だけでなく地域で子育てを支える仕組みづくりの一つとして、ファミリー・サポート・センター事業の利用料の助成を本年度から開始し、一時預かりと同料金で利用できるように事業の見直しを行なった。



星野みゆき

旧市立堀之内病院、現在の堀之内医療センターの今後について



問 現在の堀之内医療センターの場所に介護施設の開設を望む声が多い。第8期介護保険事業計画における、特別養護老人ホーム50床の整備を進めるとの計画の進捗状況はどうか。

答 市内の関係法人との間で協議を進めている。

問 介護施設をいつまでにつくり上げるといふ計画を提示し、市民に知らせていく必要があると思うがどうか。

答 第8期介護保険事業計画の中で整備するということで進めている。今後の進捗状況は市民にお知らせする時期も含めて検討する。

乗合タクシーの充実について

問 乗合タクシーが乗り入れている所への説明は行っているか。

答 約10年前、乗合タクシーの取組開始当時、路線バス廃止等にもなう代替として乗合タクシーの実証運行をしていることから、路線バス沿線のため乗合タクシーの現運行区域外となった皆様にも当時から理解していただいているものと考えている。しかしながら、新規に運行できないかなどの相談、問い合わせもあることから、丁寧な説明をしながら、今後の方向性についても検討している。

問 魚沼市公共交通計画において、利用者の要望等を情報交換する機会を設けるとしているが、計画の進捗状況はどうか。

答 今のところ直接開催はできていないが、運行計画の協議に参加いただいている各地域の連合区長等と相談しながら利用者の声を生かし、乗合タクシーの充実と運行効果を高めたい。



横山 正樹

市内スキー場の持続化について



問 市内スキー場の価値と必要性について市長の見解を問う。

答 観光面では冬季の誘客の場であり、特に農業従事者等の冬季雇用の場としても貴重である。健康増進のための重要な施設でもあり、その効果は計り知れない。

問 スキー場持続化に「市内スキー場検討委員会（仮称）」の設置が必要と考えるが市長の考えを問う。

答 運営事業者が中心となって関係者の意見を聴く場を設けることは重要である。また、その中で市がどのように関わっていくかということを検討していく。

問 スキー場のグリーンシーズンの利活用としてどのようなイメージを持っているか。

答 グリーンシーズンの利活用は持続可能なスキー場運営で非常に重

要である。特色ある様々な取組がさらに発展できるように支援していきたい。

高齢者世帯が安心して暮らせる生活について

問 高齢者世帯の日常生活で買物、通院、除雪等、困難な状況がある。その対策を問う。

答 タクシー券の交付、除雪援助、ヘルパー派遣等の生活援助を実施している。また、住民同士の共助事業についても支援を行っている。

問 人口減少・高齢化をどのように受け止め、どんな対策・施策が必要と考えているか、市長の見解を問う。

答 今後、自治会活動の継続ができなくなる集落が出てくると危惧している。集落支援員によるサポート体制の強化や、共助事業に対する支援制度の見直し等、安心して心豊かに暮らせる地域づくりを目指していく。



遠藤 徳一

市内インターチェンジ名称変更について市民の合意形成の図り方はどうか



問 このことについて数名の議員が一般質問をしている。市長は公約実現に向け活動を始めた訳だが名称等は長きにわたり利用していると愛着形成や名称のブランド化となっ

ていて賛否に多くの声が寄せられると思う。特に魚沼圏域や定住自立圏域の締結を結んだ自治体間で捉えた場合、持ち合わせる資源やイメージが類似をしていて魚沼ブランド戦略で生業を立てている民間事業者も多い中、どのようにして市民や事業者に理解を求め合意を図るか。

答 長岡市や近隣自治体の首長とは正式に面会し思いを伝えたところ、好意的だった。ネクスコ東日本との協議にも機を見て入りたい。計画として合併20年の令和6年を目途と考える。市民参画としては協議会の立ち上げ、名称等も含む市民アンケートも検討したい。また、市長の「語るん会」等出向く行事で発信する中で反対意見の払拭や費用対効果

について丁寧に説明し理解を求めたい。このことが合意形成につながることを考える。

通学路安全対策について

問 通学路において痛ましい事故が千葉県八街市で発生し、八街市は要望書等も踏まえ危険箇所と認識していたが財政上の問題として、予算措置を行っていなかったと会見している。当市は事故後調査聞き取り等の対応を取って来たか。

答 数件の問い合わせをいただいたが、年間を通じ現地調査も含め関係機関と安全対策について協議をしている。今回は国の通達もあり、幹線道路の抜け道となっているような通学路についても調査したい。この度の飲酒運転による事件が悔やまれるが将来を担う地域の子どもたちを守るためにも交通安全対策に取り組んでいきたい。



佐藤 達雄

新型コロナウイルス対策について問う



問 感染再拡大を起こさないためにも、密が発生する職場での定期的なPCR検査をモニタリング検査として実施し、その費用は市で負担すべきだ。

答 市では医療従事者、高齢者等へのワクチン接種も進んでいることから、現在のところこれらの人に対する定期的なPCR検査の実施は考えていない。無症状感染者の早期発見のために実施することは、市単独では費用的な面、人的な面で非常に難しい。

問 新型コロナウイルスによる中小事業者や個人事業主の経営状況把握はどのようにおこなっているか。経営圧迫により苦しんでいる人に手は届いているか。

答 各種支援事業の申請時の提出資料等で把握しており、事業者の多くが非常に厳しい状況にある。中小企業経営継続支援事業が最も効果的かつ支援できていると考えており、対象期間を12月まで延長した。

問 市内の事業者へ出向き、実態調査をやってもらいたい。市長は就任時に、職員に現場へ行ってニーズをつかんでもらい、それを市政に生かしたいと述べていた。コロナ禍での事業者の状況を把握してもらいたい。

答 商工業に限らず、職員が現場に出て行くことは私の基本であり、そこは進めたい。担当者がより市民のほうに向いている職員になってもらいたい。

問 特別養護老人ホーム50床増設の一番の問題は介護職員確保か。処遇改善のため、方向としては手当増額であり、他自治体に負けない手当支給を検討すべきだ。

答 看護師を含め介護人材の確保が課題である。その目途が立てば実現の可能性が高まる。処遇改善は介護人材の確保につながることで、特定の職種に手当を支給することは公平性の観点から難しい。



富永三千敏

コロナ対策のため下水疫学検査の実施を



問 1 新型コロナウイルス感染症の影響で市内事業者の維持継承が困難になった。経済対策を進めるべきだが、第1段階として感染者を出さない対策が必要だ。感染者が多く出ること

で病院や福祉施設の利用が制限されないよう無症状感染者を発見できる下水疫学検査が有効である。感染拡大を未然に防ぐために、下水疫学検査を実施しないか。

2 コロナの影響で、市営・市有施設と違い民間事業所の状況は非常に厳しい。対応や支援策の考え方はどうか。

答 1 下水疫学検査は感染拡大の予兆の把握や地域内における感染者の有無の確認に期待が寄せられる検査であるが現時点の実施は考えていない。ワクチン接種に全力を注ぎたい。

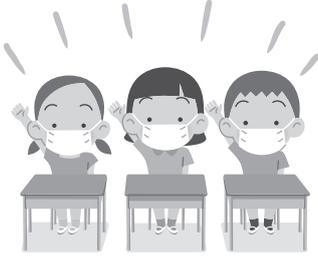
2 中小企業経営継続支援事業の継続が最も適切な支援策と考えている。今後も期間の再延長や新たな対策について検討を進めたい。

地籍調査と森林環境譲与税活用について

問 異常気象による大規模災害や鳥獣被害等の対策には土地の所有と境界の明確化が必要で、地籍調査を進めなければならない。

地籍調査の必要性をどう捉えているか。未実施区域の面積と完了年数はどのくらいか。調査を早める新手法を取り入れられないか。災害危険箇所の調査はしているか。対策を実施するため森林環境譲与税を活用するべきかどうか。

答 災害対応、土地取引等には地籍調査が必要である。全面積の35%が未実施で、完了には約100年かかる。リモートセンシングという新手法があるが活用はかなり先になる。危険箇所調査はしていない。森林環境譲与税を活用して森林整備等を実施し対策を進めたい。



問 今年度市内で2名のスクール・サポート・スタッフが配置されている。教職員の多忙化解消に有効と考えているため、今後の配置については新年度予算編成において検討したい。

答 今年度市内で2名のスクール・サポート・スタッフが配置されている。教職員の多忙化解消に有効と考えているため、今後の配置については新年度予算編成において検討したい。

問 国において、公共工事の品質確保と担い手の育成・確保を基本理念とした法整備を実施し、週休2日の取組や適切な履行期間の設定等により、建設労働者の確保、離職防止や処遇改善に努めている。本市もその施策に準じて対応しているため、現在のところ公契約条例の制定は考えていない。

答 国において、公共工事の品質確保と担い手の育成・確保を基本理念とした法整備を実施し、週休2日の取組や適切な履行期間の設定等により、建設労働者の確保、離職防止や処遇改善に努めている。本市もその施策に準じて対応しているため、現在のところ公契約条例の制定は考えていない。

問 公契約条例の制定を求める



高野甲子雄

スクール・サポート・スタッフの配置を



志田 貢

再生エネルギーの普及促進を



問 当市では再生エネルギーの活用は小規模のものが中心であり、固定価格買取制度を活用した大規模のものは、過去の事例を含めても少ない。

答 社会全体という視点で、低炭素・循環型社会を構築していくためには、ある程度大きなものが必要と考えられる。

問 固定価格買取制度を活用する方策を考えるべきと思うがどうか。

答 東北電力管内において買取価格は下落し続けており、今後は売電から自家消費への移行が進むと考えられる。市主体の売電事業実施は現時点では考えていない。

問 室内プールの設置について

答 有志の方々から設置要望があるが、市の考えはどのような

問 ものか。

答 これまであった民間施設と同程度の施設を市が建設できるかは慎重に検討する必要がある。今後の課題として研究していきたい。

問 選挙投票率の詳細発表について

答 各選挙において投票率の低下が顕著である。地区別、年代別等の投票率の詳細を、有権者及び選挙立候補関係者が共有することで投票率の増加が期待できると思うがどうか。

問 年代別投票率はホームページで公表している。地区別の投票率も照会があった場合には回答している。今後も投票率向上に向けた様々な方策を検討していきたい。



大桃 俊彦

新ごみ処理場建設計画について



問 一市一町で進めてきた新ごみ処理場建設計画の枠組みを方針転換し、魚沼市単独で進めるとしたが、今後の計画が示されていない。
建設位置や処理方法・能力・体制等はどう考えているか。

答 本市の既存施設の稼働年限の見極めを行い延命化を図りながら新施設整備を行っている。

問 検討の際にはバイオマス発電の活用で、森林・里山整備に力を入れてはどうか。

答 提案いただきありがたい。検討をしていく。

畜産の悪臭公害対策について

問 湯之谷にある養豚団地からの悪臭問題について、一般の市民福祉委員会の中で、地権者は5年以内には改築予定の話が出ている報告があった、その後どのようになったか。

答 5年以内の改築という話ではなく、現在、事業者が見積もりを取っているところである。

問 もう何十年來話を続けてきた

が、未だに結論が出ない、もういい加減にして答えを出さなければならぬ時期だ。何でその方向での話がされないのか。

答 事業者が周辺地域との良好な関係にあることが大切と思う。本気で事業者と話し合いをしていく。

湯之谷公民館図書室について

問 スタートして間もないが、16歳〜19歳の利用者が少ない。学生が利用するスペース、机等を検討しないか。

答 プレステージインターナショナル社とカフェスペースを相互利用することをお願いしている。

湯之谷地区の強固な岩盤の活用について

問 国がデータセンターを地方都市へと求めている中で、中越地震にも耐え抜いた強固な岩盤を持つ、魚沼市への誘致を検討すべきと考えるかどうか。

答 情報収集も含め、今後勉強していく。



本田 篤

所有者不明土地対策は早急に



問 所有者不明土地は不動産登記簿を見ても、現在誰が持っているか分からない土地で、公共事業、地震や豪雨などの災害からの復旧や民間の土地取引の妨げとなっている。全国の土地の2割で所有者が分からない。本市においてはどのような状況か。

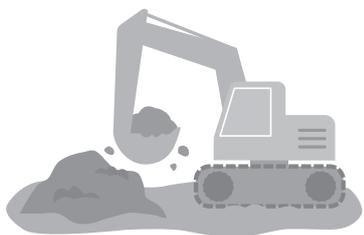
答 所有者の調査は事業実施時に個別に対応しているため、市内における所有者不明土地の割合は把握していない。

問 所有者不明土地対策を早急に進めるべきではないか。

答 対策を行う必要があると考えているが、現状、公共工事の支障となる事例は生じていない。調査等に多大な時間が必要となることから、これまで通り個別に対応していきたい。

問 政府は、問題解決のため民法など関連法の改正案を決めた。これにより、持ち主が誰かわからない土地の管理を強化することができるようになる。本市としては、どのような方法で対応するのか。

答 所有者不明土地の発生を防ぐため、土地所有者の死亡等における相続発生時に相続登記の必要性について、今後も周知・啓発を行ってきたい。ほかにもどのような対応ができるのかについては、国や県からの情報を注視していきたい。





大平 恭児

投票所は身近な所に見直すべきではないか



問 投票所が遠くて、投票所に行けない人が多い。身近な所で投票できるように見直すべきだ。

答 町村合併時以後に投票区全体のあり方を議論し、見直しを進めた結果、現在の28カ所としたもので、今のところ見直す予定はないが投票環境の改善に努めていく。

住民健診会場の見直しについて

問 健診会場が遠くて諦めた方もいる。健診は健康観察するのに大切だ。身近な所で受診できるように見直す考えはないか。

答 受診者の利便性向上のため、半日で特定健診・胸部レントゲン検査等の総合健診ができる会場を検討してきた。また、今までの会場見直しの際には、各地域の自治会長の意見を聞きながら進めてきた。今後も受診人数の推移や意見を参考にしながら見直した会場を維持していく。

精神医療費助成について

問 精神障害者医療費助成は精神科だけではなく、内科等ほかの診療についても上乘せして助成を行う考えはないか。

答 精神科以外の診療への助成を実施する考えはないが、現在の制度の堅持について要望が寄せられていることから、助成内容を変更せず維持していく。

通院で乗合タクシーの活用

問 高齢者や障害者は、通院での交通費が年々重くなっている。乗合タクシーをもっと活用して、市内どこからでも低額で小出病院や魚沼基幹病院などに通える仕組みが作れないか。

答 小出市街地及び周辺地域の乗合タクシーは小出病院まで乗換なしの運行となっている。魚沼基幹病院への乗合タクシーの乗り継ぎについては、今のところない。現行の福祉交通分野の制度拡充を含め、検討していく。



渡辺 一美

魚沼市の雪国文化、アルペンスキー技術の継承を



問 今まで通りの財政支援では、スキー場は残っても「スキー人口の減少は止められない。」スキー人口を増やす財政支援への転換が必要である。そこで、魚沼の子どもたちが中学校を卒業までに、スキー検定の3級または2級を取得できるように小中学校のアルペン授業の推進を図るため

- 1 週1回以上の授業の確保。
 - 2 スキー用具等、スキー授業に係る費用の保護者負担の軽減策。
 - 3 スキー授業の指導員を市の予算で確保。
 - 4 魚沼市民や観光客対象のリフト使用料補助。
- 以上4点を提案し、見解を問う。

答 1 限られた授業時数をスキーにのみ割けない実情はあるが、雪国の特色でもあるため、体験学習的な側面も踏まえ、教育委員会等と協議していきたい。

2 スキー場までのバス手配、リフト券代補助、就学援助制度によるス

キー用具購入の助成等を行っている。

3 報償費や委託料で予算を確保している。

4 条例に定める減免の考え方は異なるが、スキーに親しむ機会を創出するため、効果的な支援を考えていく。

堀之内地域の施設再編について

問 堀之内地域の施設再編は、堀之内医療センターの機能を堀之内社協の場所に移転させ病院跡地に特養を建設し、福祉の相談や集いの場を町の中心地である旧子育て支援センター跡地に建設すべきと考えるがどうか。

答 社会福祉協議会堀之内支所が入っている旧療養病棟の利活用については現在内部で協議している。旧子育て支援センター跡地については、地元からの要望書をもとに利活用について考えていく。

Voice

聞かせて！あなたの声

奥只見山岳会 × 市議会

地域で活躍する皆さんとざっくばらんに語り合うコーナーです。第6回目は奥只見山岳会会長の櫻井秀夫さん、副会長の渡部誠一さん、星義廣さんの3名にお話しを聞かせていただきました。



※撮影時のみマスクをはずしています

活動内容について

現在の会員は23名で、おもに荒沢岳の岩場の鎖の取り付け、登山道の整備、道標の取り付けなどを行っています。さらに越後三山周辺の遭難、救助への協力なども行ってきました。ほかにも山開きへの協力や、グループによる登山企画も行っています。会として約60年の歴史がありますが、荒沢岳登山道の開設、荒沢岳から中ノ岳への縦走路の開拓、平ヶ岳登山道の開設は大きな功績といえると思います。

奥只見山岳会の 発足について

昭和27年ごろ有志5名により結成された「湯之谷山岳会」がきっかけとなり、昭和33年に現在の「奥只見山岳会」が結成されました。荒沢岳は危険箇所も多く険しい山ですが、越後駒ヶ岳と中ノ岳から周回もでき、山頂からの大展望など魅力の多い山で、会の原点は荒沢岳にあると思います。

課題・悩み

市から登山道整備を委託されている区間のほかにも、裏越後三山（荒沢岳・中ノ岳・越後駒ヶ岳）整備の際、たとえば刈払機の刃などの消耗品や人件費など、目には見えづらいですが、登山道を維持するには費用がかかっています。費用の負担の考え方についてはさまざまな意見があり難しいと感じています。

また、登山道の維持作業は地域山岳への熱意や、体力勝負という部分もあるので、今後の若手の人材育成が課題と感じています。



荒沢岳登山道への鎖の取り付け

市議会に伝えたいこと

自然と向き合ううえでは災害はつきもので、今年も越後駒ヶ岳近辺での土砂崩れや駒の湯橋の落橋などがありました。このような大きな工事には補正予算が必要な場合もあると思いますが、前向きに考えてもらいたいと思います。



愛する荒沢岳を眺める

今回の取材を通して、60年以上もの歴史がある「奥只見山岳会」の皆さんの活動に敬意を表します。会員が登山を楽しむだけでなく、市内外の登山者の安心安全を陰で支える大切な仕事をされていることや、時には遭難救助の協力を行ってくださっていることを知りました。あらためて、魚沼の自然は多くの市民の皆さまに支えられていることに市議会としても感謝する気持ちを忘れてはいけなと感じました。

総務文教委員会報告

7月20日・7月29日に委員会を開催した。

1 委員会に付託された議案の審査
請願第3号

30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の採択を求める請願書

問 市内小学校で30人以下学級に該当しない学級はいくつあるか。

答 特別支援学級を含め小学校は全90学級中9学級ある。

※採択すべきものと決定。

議案第73号

魚沼市芸術文化振興基金条例の廃止は、小出郷文化会館で実施する文化芸術事業の財源に充てるための基金を全額を取り崩したことから、当該条例を廃止するもの。小出郷文化会館の文化芸術事業については、引き続き継続して実施していくとの説明があった。

※原案可決すべきものと決定。

議案第75号・76号

財産（災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車）の取得及び、財産（小型動力消防ポンプ付普通積載車3

台）の取得までの2件は、更新時期を迎えた車両に替わり新たな車両を購入するもの。

※2案は原案可決すべきものと決定。

議案第81号

権利の放棄については、平成25年に市が斎場建設用地として取得した土地で確認された廃棄物処理に係る売主の瑕疵担保責任に基づく損害賠償請求権について、改めて市長が精査した結果、市が保有し続けるべきではないと判断したことからこの権利を放棄したいとするもの。

問 元本がなくなればそれに係る遅延損害金もなくなるということか。

答 そのように認識している。

問 どのような精査を行ったのか。

答 各方面から伺った意見や類似の事例を参考に、そもそもこの請求を続けることがどうかを精査した。

問 責任についてはどう考えるか。

答 私（市長）の処分を考えている。

※原案可決すべきものと決定。

2 既存庁舎の利活用について

各旧庁舎の現在の使用状況と将来的な利活用について説明があった。

問 社会福祉協議会の移転はどうか。

答 社会福祉協議会からは、9月までに結論を報告するという回答をも

らっている。

3 小出郷図書館について

現在の図書館の大規模改修を見直し、新たな図書館建設も視野に入れ再検討したい旨の説明があった。

問 スケジュールはどうか。

答 今回の報告を踏まえ、これから具体的な調整に入る。

4 魚沼市公立保育園等再編計画（案）及び第二期子ども子育て支援事業計画の見直しについて

私立保育園の新規開設及び新体制の下で私立幼稚園が継続する方向性を示したことにより、計画に見直しの必要性が生じたとの説明があった。

5 旧堀之内子育て支援センター解体撤去工事に係る設計見直しについて

工事発注に先立ち再度調査したところ新たなアスベストが発見され、その除去に係る設計の見直しが必要になったとの説明があった。

問 今後も新たにアスベストが発見される可能性はあるか。

答 ないとは言えない。新たな箇所が出た場合には適切に対応させていただく。

問 近隣住民への周知、説明はどうか。

答 工事業者が決まったら地元説明会を開催したい。

6 入広瀬小学校について

想定を上回る児童数の減少に伴い、保護者や地域住民から入広瀬小学校の今後について様々な意見をいただいております。今後は説明会や検討委員会を経て、11月を目前に方向性を出したい旨の説明があった。

7 今後の所管事務調査について

申し送りを受けた事項について、引き続き本委員会で調査を継続することとした。

総務文教委員会紹介

総務政策部、教育委員会、北部事務所、会計課、消防本部、議会事務局、選挙管理委員会、監査委員及び固定資産評価審査委員会の所管事項など



産業厚生委員会報告

7月21日に委員会を開催した。

1 委員会に付託された議案の審査

議案第74号

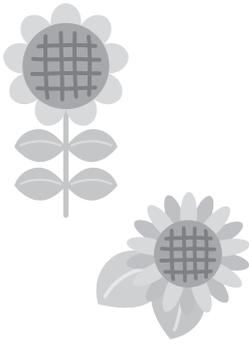
魚沼市手数料徴収条例の一部改正について

マイナンバーカードの再発行に係る料金徴収の主体が地方公共団体情報システム機構に変更することともなうもの。

問 再発行の手数料の金額について変更後の金額が変わるのか。

答 まだ示されていないが、9月の施行前には示されると思われる。現在は800円だが、同程度で調整しているという情報が入っている。

※原案可決すべきものと決定。



議案第77号〜79号

財産（ロータリ除雪車）の取得から、財産（除雪ドーザ）の取得までの3件は、更新時期を迎えた除雪車に替わり3台新車を購入するもの。入れ替え後は、一部予備車として使用。

※3案は原案可決すべきものと決定。

議案第80号

四日町排水ポンプ場土木工事請負契約変更について

本工事は鉄道（只見線）近接工事であり、工事施工計画で鉄道保安要員を増員する必要が生じたため。

問 保安要員の労務費がかなり高額のようにだが、JRが関係する工事ということで金額が決まっているのか。

答 金額は決まっており、その金額で設計している。

※原案可決すべきものと決定。

2 コロナ禍における経済対策等について（産業経済部主要事業経過報告）

① 市内3スキー場の運営について
持続可能なスキー場運営に向けた合同会議を開催した。各スキー場ごとに、今後発生する設備の長寿命化

費用を参考に、市への要望と長期事業計画の2点を本年9月までに策定することです承した。

② 魚沼市観光振興計画策定について

観光関連10団体のほか、観光プランディングマネージャーの11名で策定委員会を発足させた。また、各団体からの推薦委員による実践部会を開催する。

③ コロナ禍の観光対策事業について

県が実施している県民宿泊キャンペーンの期間延長に合わせ、当市のクーポン券事業の期間も、予算の範囲内で8月31日まで延長した。

④ プレミアム付商品券事業について

7月4日の発売以来、順調に利用が伸びている。7月20日現在、5万3千冊のうち96%が売れ、市民から利用いただいている。

⑤ 須原スキー場災害復旧事業について

今冬の豪雪で、クワッドリフトの防護網が倒壊した災害復旧工事は、

調査委託設計業者を決定し、本年12月中旬の工事完了を目指し作業に着手した。また、ほかのリフト支柱の安全調査を行い問題がないことを確認した。

3 今後の所管事務調査について
申し送りを受けた事項について、引き続き本委員会で調査を継続することとした。

産業厚生委員会紹介

市民福祉部、福祉事務所、産業経済部、ガス水道局及び農業委員会の所管事項など



1人あたり年額96,000円の使いみちは？

令和2年度 政務活動費



政務活動費は、市議会議員の調査研究その他の活動に資するために必要な経費の一部として交付されるものです。交付額は「1人あたり月額8,000円」で、半年毎に2回に分けて交付されます。

(単位:円)

議員氏名 または会派名	交付額	支出額 (支出のあった項目)					収支差引額 (返還額)
		調査研究費	研修費	広報費	資料購入費	支出計	
星 直樹	96,000			76,395	67,300	143,695	
浅井 宏昭	96,000			99,426		99,426	
星野みゆき	96,000		5,000	67,517	48,000	120,517	
大桃 俊彦	96,000			36,463	73,907	110,370	
大桃 聡	96,000	35,640			71,255	106,895	
富永三千敏	96,000			129,175	53,604	182,779	
志田 貢	96,000				61,370	61,370	34,630
佐藤 敏雄	96,000			95,413	11,160	106,573	
大平 栄治	96,000			123,959		123,959	
渡辺 一美	96,000			115,926		115,926	
佐藤 肇	96,000	15,200	15,670		49,800	80,670	15,330
関矢 孝夫	96,000			64,259	33,804	98,063	
高野甲子雄	96,000		500	33,972	8,184	42,656	53,344
本田 篤	96,000		5,000		51,972	56,972	39,028
森島 守人	96,000			56,000	20,160	76,160	19,840
森山 英敏	96,000						96,000
岡部 計夫	96,000				92,400	92,400	3,600
遠藤 徳一	96,000		5,000	86,350	21,540	112,890	
日本共産党(所属2人)	192,000			219,902		219,902	
計	1,920,000	50,840	31,170	1,204,757	664,456	1,951,223	261,772

項目	内容 (経費の範囲)
調査研究費	会派、または、議員が行う市の事務、地方行財政等に関する調査研究及び調査委託に関する経費(交通費、宿泊料等)
研修費	会派、または、議員が研修を開催するために必要な経費、団体等が開催する研修会の参加に要する経費(講師謝金、研修等参加費、交通費等)
広報費	会派、または、議員が行う活動、市政について住民に報告するために要する経費(広報紙・報告書等印刷費、文書通信費、会場費等)
広聴費	会派、または、議員が行う住民からの市政及び会派又は議員の活動に対する要望、意見の聴取、住民相談等の活動に要する経費(資料印刷費、会場費等)
要請・陳情活動費	会派、または、議員が要請、陳情活動を行うために必要な経費(資料印刷費、文書通信費、交通費等)
会議費	会派、または、議員が行う各種会議、団体等が開催する意見交換会等各種会議への参加に要する経費(会場費、資料印刷費、参加費等)
資料作成費	会派、または、議員が行う活動に必要な資料の作成に要する経費(印刷製本代、リース代等)
資料購入費	会派、または、議員が行う活動に必要な図書、資料等の購入に要する経費(書籍購入費、新聞雑誌購読料等)
人件費	会派、または、議員が行う活動を補助する職員を雇用する経費(賃金等)
事務所費	会派、または、議員が行う活動に必要な事務所の設置、管理に関する経費(事務所の賃貸料、維持管理費等)

魚沼市 政務活動費 🔍 検索する

政務活動費の収支報告書を議会ホームページで公開しています。



守門って、いいところ



三洲沢
佐藤咲恵さん

都内で勤めていた頃、通勤中に電車の窓から眺めていた景色は高いビルばかりで、仕事で疲れた時や落ち込んだ時には、そのずっと先にある地元、守門の山々を思い出しては癒され、元気をもらっていたことを今でも覚えています。子どもの頃から見てきた四季折々の景色はいつも心の中に取りました。中でも、魚沼須原スキー場の山頂からの景色は最高で、紅葉した山々が夕日でさらに赤く染まった時の雄大さや、冬の晴れた日の小出方面を遠くまで見渡せる爽快な雪景色を見ると、いいところだなあとしみじみ思います。

今では、登山やキャンプ、スノーボードなど一年を通して山で遊んでいます。豊かな自然が身近にあることに感謝し、守門の素敵な景色を多くの方に知ってもらえるよう、SNSなどを通して伝えていきたいです。

コロナに負けない街づくりを

新保 和田富貴子さん

コロナ禍のため、昨年の9月から「茶の間の会」が中止になりこの8月で1年になります。

老若男女が月に1回集まり地域コミュニティの情報収集の場として楽しく活動してきましたが、いまだ集まることができずに残念です。今年度はオリンピックもあり、テレビで応援をしています。開催が1年延びたことで力を発揮できない選手がかわいそうな気がいたします。「茶の間の会」も年寄りにとっては、ボケ防止に有効な場であり、若い人には昔の歴史を知る場に有効でありました。また、笑いもあり、料理もあり、それをつまみに、変わってゆくもの、変わらないで良いものなど時代の多様性も感じていました。魚沼市も都会の波にのまれることなく、自然の良さや人の良さをもっとアピールして、コロナ後は観光客が日本の内外を問わず訪れ、活性化されることを願っています。

議会TOPICS
お弁当を食べて飲食店を支援

コロナ禍でダメージを受ける飲食店を応援しようと、本会議中の昼食に市内飲食店のお弁当を利用しています。議場内では白熱した議論が交わされますが、昼食休憩では色とりどりのおかずとホッと一息つくことができます。

7月のお弁当を紹介します



「魚沼テイクアウト&デリバリーおすすめ情報まとめ」QRコード

わが校自慢

堀之内中学校の自慢は生徒が地域、保護者の皆様に支えられ、元気で明るい挨拶をし、充実した学校生活を送っていることです。

今年度は一人一端末の整備が進み、朝のモジュールの時間にPCでのアンケートや学習を進めています。授業中の使用をはじめ、自宅に持ち帰っての活用も始めています。アンケート「学校に提案しよう！」で寄せられた生徒の声を生かし、中庭の噴水が約10年(?)ぶりに復活しました。今後も様々な場面での活用を進めていきます。



あとがき

これからの魚沼市議会と議員一人ひとりが果たす役割はますます重要になってきています。コロナに対する不安や、将来への不安は市民の誰もが感じていると思います。そのことに対する一定の答えを、我々市議会議員が出していかなければなりません。様々な角度からの議論が議会の中で行われるように、当委員会も力を尽くしたいと思えます。「こんにちは 魚沼市議会です」がリアルな議会の模様を伝え、議員と市民が縦横に身近な問題、市政や魚沼市の将来について大いに語る姿も表現したいと思えます。市民に広く親しまれ、お互いにキャッチボールができる紙面づくりを行ってまいりますので、期待ください。

(大平恭児)